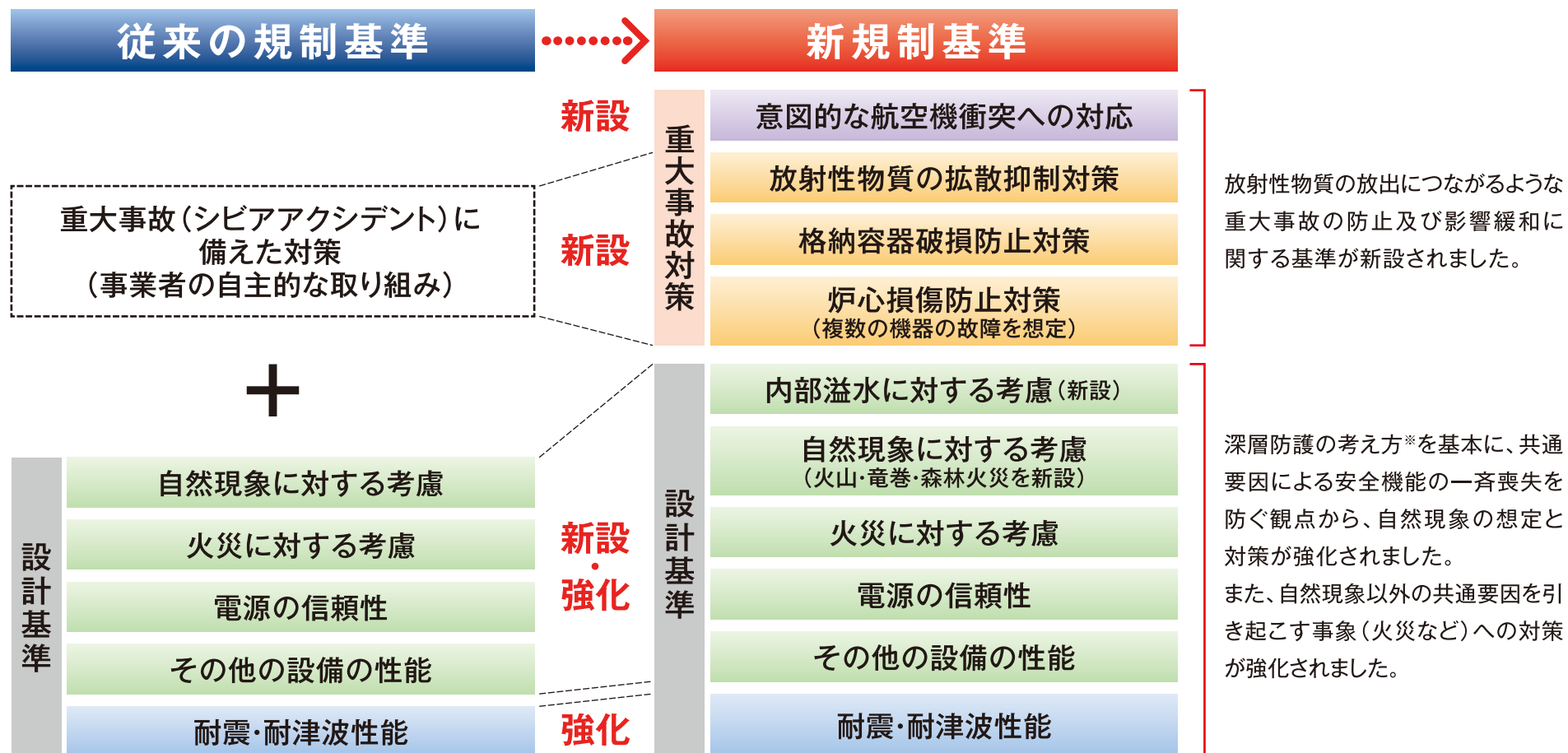


# 従来の規制基準と新しい規制基準との比較

2013年7月8日、福島第一原子力発電所事故の教訓や世界の知見を踏まえ、原子力規制委員会が策定した新しい規制基準が施行されました。原子力施設の設計基準(重大事故を防止するための基準)が強化されるとともに、設計基準を超える重大事故が発生した場合に対処するための基準が新設されました。



※:原子力安全を確保するため、想定外のことが発生し得るということを考慮し、不確かさにも適切に対応できるように事前に対策をとる考え方。深層防護の考え方に基づく防護策が全体として有効に機能するためには、「効果が独立した防護レベルの設定」と「各防護レベルでの信頼性を高めること」が必要な要素となる。(それぞれのレベルで最善を尽くすことで、はじめて全体としての効果が期待できる)